

抗議の要請文

1月17日の原子力潜水艦ミシシッピの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦ミシシッピは横須賀港から出て行くことを要求する。

米海軍第7艦隊司令官 フィリップス・ソーヤー中将 殿
 在日米海軍司令官 ブライアン・フォート少将 殿
 米海軍横須賀基地司令官 マイケル・リッチ・ジャレット大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
 新日本婦人の会神奈川県本部
 神奈川県商工団体連合会
 神奈川県平和委員会
 安保廃棄神奈川県統一促進会議
 原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
 原水爆禁止神奈川県協議会

1月17日10時35分、バージニア級攻撃型の米原子力潜水艦ミシシッピが横須賀に入港した。2020年の原子力潜水艦の入港はこれが初めてで、原子力艦船の入港も1回目、通算1002回となった。

現在、横須賀港には、原子力空母ロナルド・レーガンが滞在していて、原子力艦船の原子炉3基存在している。横須賀港に原子力艦船が入港することは、原子炉事故の危険性を増大させ、横須賀市民や首都圏住民の命と暮らしを脅かすものであり断じて許されない。強く抗議するとともに、原子力空母ロナルド・レーガン、原子力潜水艦ミシシッピは直ちに横須賀港から出て行くことを要求する。

この間、米軍と自衛隊が一体となって共同軍事訓練をおこない、アジア・太平洋地域及び中東の偵察や軍事行動が強まっている。そして、1月3日、米国・トランプ大統領の指示によりイラン革命防衛隊・ソレイマニ司令官を空爆によって殺害し、中東の緊張を高める深刻な事態も引き起こされている。日本政府は、米政権の対イラン有志連合構想への参加要請を「調査・研究」とこじつけて自衛隊の中東派兵を閣議決定した。既にヘリコプターを搭載できる護衛艦「たかなみ」と哨戒機「P3C」に派遣命令を出し、P3Cは20日にも活動を始める予定となっている。護衛艦は2月2日に日本を出発し、今月下旬から現地で活動すると言われている。これらの情勢の中に、今回の原潜ミシシッピの横須賀入港がある。このような軍事的緊張を強める行動は百害あって一利なしである。

米政府は、核兵器を使用する姿勢を強め、潜水艦発射ミサイル、小型核弾頭や核巡航ミサイルなどの開発を進め、原子力潜水艦への核兵器搭載が懸念される。

今回の中東における緊張激化は、イランとの核合意を一方的に離脱し、本格的軍事活動の展開を企図したことにその出発点がある。われわれはこのような核兵器廃絶と平和に逆行する一連の行動を強く非難し、外交的努力によって、情勢の平和的打開を強く要求する。

今後、日米核密約によって米原子力潜水艦に核兵器を搭載して横須賀基地に入港することが懸念される。日米間の核密約を直ちに破棄し、非核三原則を国是とする日本の港に核兵器搭載艦が入港しないことを強く要求する。

首都圏は巨大地震発生の可能性が日々強まっている。地震や津波による原子力艦船の原子炉事故も心配である。原子力艦船の原子炉事故による神奈川県民や首都圏住民の放射線被害は断じて許されない。米軍の地震や津波による原子力艦船の事故対策を明らかにすることを要求する。

横須賀港は米原子力潜水艦の母港ではない。横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、県民を放射線被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入港はやめること。原子力空母ロナルド・レーガン、原子力潜水艦ミシシッピは横須賀港からただちに出て行くことを強く要求する。

以上